

はばたけ

東京都社会福祉事業団

東京都八街学園

「はばたけ」

令和7年度 第1号

(通算 第60号)

令和7年 6月 25日発行

〒289-1103 千葉県八街市八街に151 ☎043-443-1021 FAX 043-443-7215

URL <https://www.jigyodan.org/yachimata-gakuen/> E-mail info@yachimata-gakuen.jp

ご挨拶

令和7年度に入り、八街学園では、新規職員5名と転入職員2名を迎え、新たなスタートを切りました。新たに社会人として仕事を始めた方もいれば、様々な場所で経験を積んだ方もいます。それぞれの持ち味を活かしながら、こどもとの関係づくりに邁進していただきたいと思います。

昨年度お世話になった地域の皆様方におかれましては、今年度も変わらぬご支援・ご協力を賜りますと幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

東京都社会福祉事業団の児童養護施設では、数年かけて「自立支援計画」の書式の改定が行われ、今年度から新書式を使っての支援が始まります。改定の大きなポイントは、作成した計画をこどもたちに説明するためのシートができたことです。これにより、こどもたちが、自分が表明した意見がどのように取り扱われ、結果として自分の生活にどのように反映されるのかを知ることができるようになりました。令和6年度の改正児童福祉法に、こどもの意見表明支援の重要性が明記されましたが、この取組が、意見表明の先には、自分たちの今の生活の充実や将来の希望の実現があるということを実証していく機会になっていくことを期待しています。

一方で、この取組によって私たちに課せられたことは、こどもたちが安心して意見を表明できる「関係性」を作っていくということです。「どんな意見を言っても受け止めてもらえる」という安心感がなくては、本音を語ることは難しいからです。そのためには、こどもたちが発する言葉の一つ一つを丁寧に受け止め、気持ちの表明には共感し、要望の表明には実現に向けて努力し、できない時はその理由を説明していくことが必要です。突き詰めれば、日常生活の中で行われる日々のやり取りを大切にしていくことが、こどもたちの意見表明を支えていくことに繋がっていくことだと思えます。

「個」を大切にす八街学園の文化の中で関係性を育ててきた職員とこどもたちが、書式変更という仕組みのリニューアルをきっかけに更に関係性を深め、より良い生活を営んでいく姿を想像し、期待に胸を膨らませています。

運営方針

1 子どもの権利擁護

子どもの権利を擁護する施設文化を醸成し、個々の子どもの状況に応じて最善の利益を施設全体で考え続けます。また、支援方針など子どもに関する決定を行う際には、子どもの気持ち、意見を理解し、受け止め、合意されたニーズとして、日課等の生活環境の整備や自立支援計画に反映します。

2 個別的養育の展開

子ども一人ひとりの気持ちや願いを受け止め、傷つきや発達段階等のアセスメントを踏まえて、安心できる環境のもと心身の回復と健全な育ちが叶えられるよう信頼関係を育みます。また、将来他者に適度に依存しながらも、自分の主体的な選択に基づいて、より良い生活を模索できるよう支援し続けます。

3 子どもの多様なニーズに応じた生活形態

生活全般において平均的な質を保障しつつ、生活費必需品等、生活環境の様々な側面に配慮し、基本的な生活の中で、健康的な日々の営みを享受でき、家庭的な生活を感じられるように子どもの生い立ちや生活状況を踏まえた、多様かつ柔軟な生活環境の整備と提供を行います。

4 地域との連携

地域の多様なニーズに応じて、連携及び相互交流を図っていくとともに、地域社会に対して、子どもの状態や境遇について、正しい理解と対応がなされるよう働きかけていきます。



🍷 2年越しにボウリング大会が開催されました 🍷

八街学園では、年間を通して子どもたちが楽しめるイベントを行っています。近年は流しそうめんや焼き芋パーティー、ゲーム大会などを実施して子どもたちの笑顔がたくさん見られました。一昨年からボウリング大会の案が出て計画までしたものの、都合が合わずなかなか実施できずにいました。そんなボウリング大会ですが、昨年12月ようやく実施することができました！

近所のボウリング場まで全員でバスに乗って遠足気分で向かいました♪ 子どもたちは終始大盛り上がりで「初めてだったけど上手く投げられるようになった!」「また遊びに来たい!」と嬉しい声が聞こえ、可愛らしい写真もたくさん撮れました!これからも職員一同、子どもたちが楽しめるイベントを計画、実施できるように努めてまいります。

バスケットボール交流会 🏀

令和7年2月24日、退園生や元職員もお招きし、バスケットボール交流会を行いました😊

「今日の努力は明日の筋肉痛🏋️」という名言が選手宣誓で飛び出し、その言葉通りのアツイ試合が繰り広げられました!

一生懸命皆が頑張っている姿にトウク トウクと胸の高鳴り♡これだからスポーツイベントは最高です!

より詳細はブログに載せていますのでぜひご覧になってください!!



ブログの続き
はこちらから



★フレンドホーム(家庭生活体験事業委託家庭)を募集しています。

八街学園で暮らしている児童の中には、夏休みや冬休みなどに、自分の家庭に帰れない児童がおります。そこで、みなさまのご家庭に夏休みや冬休み、あるいは週末などに、児童を家族の一員として招いてもらい、家庭生活を体験させていただけるボランティアを募集しています。期間は1日から7日程度で、概ね3歳から12歳までの児童が対象となります。

★学習ボランティアを募集しています。

小・中学生を対象に、個別あるいは、グループでの学習をお手伝いして頂けるボランティアを募集しています。教育関係者・学生・および教育に関心をお持ちの方など、是非ご連絡ください。

★遊びを通じてのボランティア(小・中学生以下対象)を募集しています。

資格等は問いません。是非ご連絡ください。お待ちしております。
ボランティア担当:平井 若林

八街学園を退所した皆様へ

学園を出て、一人暮らしをしたり、家庭に戻ったりなど様々な方がいらっしゃると思います。八街学園はそんな退所者の皆さんに、アフターケアとしてずっと関わっていき、何か手助けが出来れば、と思っています。

困ったことだけではなく、「話を聞いてほしい」、「なんとなく電話してみただけ」、そのようなちょっとしたことでも大歓迎です。

もしかしたら、転勤や退職で知っている職員がいない、ということもあるかもしれません。そういうときは、アフターケアの担当職員もいます。みなさんの連絡を待っています。



アフターケア担当:平井 若林